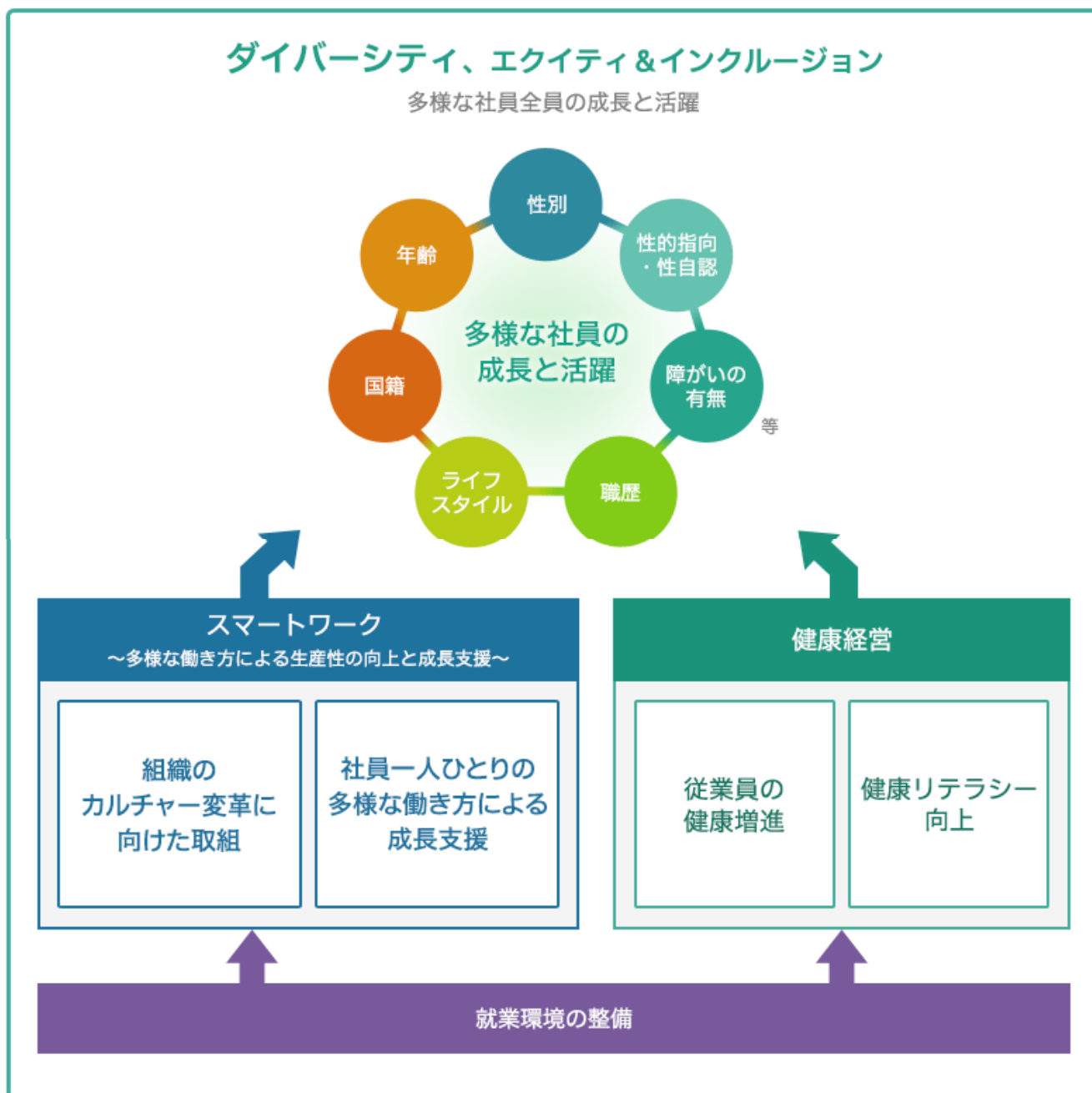


三井住友海上の健康経営の取組について

■健康経営の目的

当社は「多様な社員全員が成長し、活躍する会社」の実現をめざし、ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン推進の前提となるスマートワーク（働き方改革）の取組を継続し、社員一人ひとりが、健康で、働きがい・やりがいをもって、能力を最大限発揮できる環境を整備しています。



■三井住友海上の健康経営宣言

三井住友海上では、社員の安全と健康を確保し、社員が心身ともに健康でいきいきと働くことが、当社の持続的成長と企業価値向上を支える経営基盤であると考えています。社員が働きがい・やりがいをもっていきいきと働けるよう、社員と家族の心身の健康の保持・増進と、安全に配慮した働きやすい職場環境づくりに取り組みます。そして、多様な社員全員が成長し活躍することによって、社会との共通価値を創造していきます。

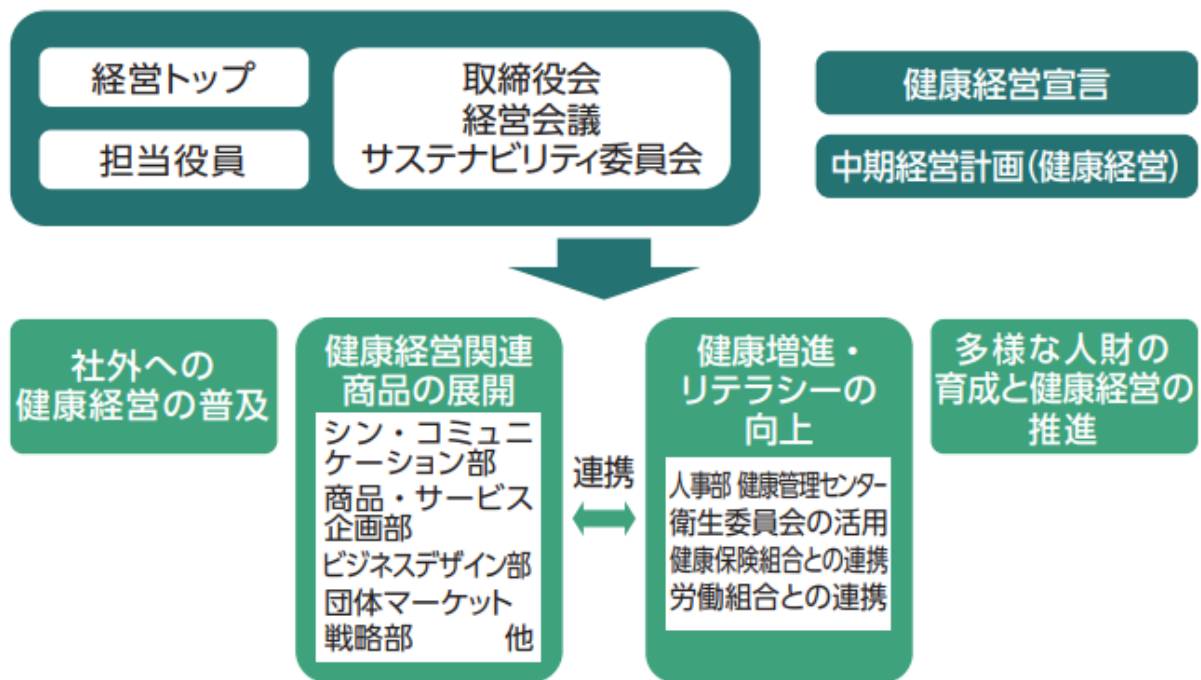
■健康経営の取組と推進体制

- 健康経営の取組は中期経営計画における人財戦略の基盤の一つであり、社員の健康の保持・増進のために重要な「健康増進」と「健康リテラシー向上」の2つの観点から各種取組を展開しています。

健康経営戦略マップは[こちら](#)

- 経営トップ・人事部担当役員・取締役会等の経営会議体のもと、人事部が中心となり、社内との関係各部門が連携し、健康経営の取組を推進しています。
- 人事部内の健康管理センターには、医師（産業医、専門医）、看護職（保健師、看護師）、歯科医師、薬剤師、歯科衛生士を配置し、外部機関の臨床心理士等とも連携の上、社員の健康管理を行っています。
- 三井住友海上健康保険組合（以下「健保組合」）とは、月1回以上の定例会議を開催し、健康診断・特定保健指導・健康増進・健保医療費・健康スコアリングについて意見交換を行っています。
- 三井住友海上労働組合（以下「労組」）とは、定例の衛生委員会のほか、不定期の意見交換を実施しています。

<健康経営体制図>



■健康経営の取組内容と結果

- 健康経営の具体的な数値目標および結果は[こちら](#)
- 主な健康経営取組の効果検証は[こちら](#)
- 主な外部評価として「健康経営優良法人(ホワイト500)」に認定されるとともに、「健康優良企業(金の認定)」を取得しています。[こちら](#)